商品売買③

先入先出法

【重要性：A】

ＰＯＩＮＴ！

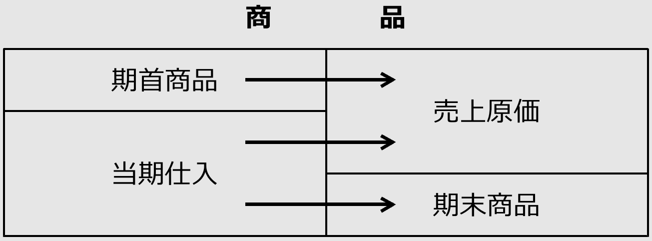
① 先出先入法のルールを覚えよう！

② 商品有高帳に記入できるようになろう！

③ 売上原価や期末商品の金額を算定できるようになろう！

　同一の商品を複数回に分けて仕入れた場合、仕入の単価が異なる場合があります。この場合、売上原価や期末商品の算定にあたり、払い出した商品にどの単価をつけるのかが問題となります。この論点を**商品の払出単価（はらいだしたんか）の計算**といいます。
　商品の払出単価の計算方法には様々な方法がありますが、日商簿記３級では、**先入先出法（さきいれさきだしほう）**と**移動平均法（いどうへいきんほう）**が出題されます。

　先入先出法とは、先に受け入れた商品から先に払い出されたと仮定して、商品の払出単価を計算する方法です。したがって、古く仕入れた商品が売上原価を構成し、期末商品は新しく仕入れた商品から構成されることになります。



例題　**９月の商品の仕入と売上の状況は以下のとおりです。先入先出法を採用している場合の売上原価と月末商品における商品の金額を答えなさい。**

９月初　商品在庫　20個　@100円
５日　仕　　入　30個　@110円
10日　売　　上　40個
15日　仕　　入　50個　@112円
20日　売　　上　45個
９月末　商品在庫　15個

商　品　有　高　帳

(先入先出法)

日付		摘要	受入			払出			残高		
			数量	単価	金額	数量	単価	金額	数量	単価	金額
9	1	前月繰越	20	100	2,000				20	100	2,000
	5	仕　　入	30	110	3,300				20	100	2,000
									30	110	3,300
	10	売　　上				20	100	2,000			
						20	110	2,200	10	110	1,100
	15	仕　　入	50	112	5,600				10	110	1,100
									50	112	5,600
	20	売　　上				10	110	1,100			
						35	112	3,920	15	112	1,680
	30	次月繰越				15	112	1,680			
			100		10,900	100		10,900			

①　売上原価を払出にしたがって計算する場合

9月10日の払出40個は、先に仕入れた月初在庫20個（@100円）と後に仕入れた9/5仕入分20個（@110円）です。また、9月20日の払出45個は、先に仕入れた9/5仕入分10個（@110円）と9/15仕入分35個（@112円）です。

したがって、売上原価は、

月初在庫@100×20個＋9/5仕入分(@110×20個＋@110×10個)
＋9/15仕入分@112円×35個＝9,220円となります。

ボックス図で示すと以下のようになります。なお、1ヶ月単位で計算する場合、期首商品は月初商品、当期仕入は当月仕入、期末商品は月末商品となります。

商　　品

期首商品 @100×20個＝2,000	売上原価
当期仕入	9/10 { @100×20個＝2,000
9/5 @110×30個＝3,300	@110×20個＝2,200
	9/20 { @110×10個＝1,100
9/15 @112×50個＝5,600	@112×35個＝3,920
	期末商品 差額 1,680
合　計 10,900	合　計 10,900

② 期末（月末）商品を求め、売上原価を差額で計算する場合

先入先出法は、先に仕入れた商品から先に払い出したと仮定して計算する方法ですが、後から仕入れた商品が期末（または月末）に残ることになります。

最後の仕入である9/15の仕入50個に対して、月末の在庫数は15個なので、月末の在庫はすべて9/15仕入分から構成されます。

したがって、月末商品は、9/15仕入分@112円×15個＝1,680円となります。

そして、売上原価は以下のように逆算で求めた方が早いでしょう。

月初在庫@100円×20個＋仕入(9/5仕入分@110円×30個
＋9/15仕入分@112円×50個)－月末在庫@112円×15個＝9,220円となります。

ボックス図で示すと以下のようになります。

商　　品

期首商品 @100×20個＝2,000	売上原価
当期仕入	
9/5 @110×30個＝3,300	差額 9,220
9/15 @112×50個＝5,600	
	期末商品 @112×15個＝1,680
合　計 10,900	合　計 10,900

移動平均法

【重要性：A】

ＰＯＩＮＴ！

①　移動平均法のルールを覚えよう！

②　商品有高帳に記入できるようになろう！

③　売上原価や期末商品の金額を算定できるようになろう！

移動平均法とは、商品の受け入れの都度、平均単価を計算して、平均単価を払出単価とする方法です。平均単価は以下の式で算定します。

$$\textbf{平均単価} = \frac{\textbf{受入前商品残高＋受入商品金額}}{\textbf{受入前商品数量＋受入商品数量}}$$

例題　**９月の商品の仕入と売上の状況は以下のとおりです。移動平均法を採用している場合の売上原価と月末商品の金額を答えなさい。**

９月初	**商品在庫**	**20個**	**@100円**
５日	**仕　　入**	**30個**	**@110円**
10日	**売　　上**	**40個**	
15日	**仕　　入**	**50個**	**@112円**
20日	**売　　上**	**45個**	
９月末	**商品在庫**	**15個**	

（移動平均法）　　　　　　商　品　有　高　帳

日付		摘要	受　入			払　出			残　高		
			数量	単価	金額	数量	単価	金額	数量	単価	金額
9	1	前月繰越	20	100	2,000				20	100	2,000
	5	仕　　入	30	110	3,300				50	106	5,300
	10	売　　上				40	106	4,240	10	106	1,060
	15	仕　　入	50	112	5,600				60	111	6,660
	20	売　　上				45	111	4,995	15	111	1,665
	30	次月繰越				15	111	1,665			
			100		10,900	100		10,900			

9月10日の払出40個は、9/5仕入後の平均単価@106円で計算されます。また、9月20日の払出45個は、9/15仕入後の平均単価@111円で計算されます。

したがって、売上原価は、

9/10払出分@106円×40個＋9/20払出分@111円×45個＝9,235円となります。

また、月末商品は、@111円×15個＝1,665円となります。

　ボックス図で示すと以下のようになります。なお、1ヶ月単位で計算する場合、期首商品は月初商品、当期仕入は当月仕入、期末商品は月末商品となります。

商　　品

期首商品　@100×20個＝2,000	売上原価
当期仕入	9/10　@106×40個＝4,240
9/5　@110×30個＝3,300	
	9/20　@111×45個＝4,995
9/15　@112×50個＝5,600	
	期末商品　@111×15個＝1,665
合　計　10,900	合　計　10,900